

第52回水工学に関する夏期研修会（Aコース）実施報告

開催日 2016年8月22日（月）～ 8月23日（火）

会場 秋田大学 一般教育2号館

テーマ：「地球環境変化時代の水防災」



8月22日（月）

(1) 9:00～10:30 「仙台防災枠組2015-2030」の策定に向けた

科学・技術分野の取り組みとその後の展開

東京大学・教授 小池俊雄

(2) 10:45～12:15 水防災意識社会再構築に向けた取り組みについて

国土交通省・東北地整・河川部長 畠山慎一

(3) 13:15～14:45 2015年関東・東北豪雨災害における鬼怒川の

堤防被災状況の把握とそのメカニズムの検討

東京理科大学・教授 二瓶泰雄

(4) 15:00～16:30 降雪・積雪・融雪のモデリング

東北大学・教授 風間 聡

8月25日（火）

(5) 9:00～10:30 流出予測, 数時間先から数十年先まで

東北大学・名誉教授 真野明

(6) 10:45～12:15 土砂災害を発生させる現象の実態と解析

京都大学・准教授 竹林洋史

(7) 13:15～14:45 洪水と河道管理

北海道大学・教授 泉典洋

(8) 15:00～16:30 水防施設と氾濫 -2011年タイ大洪水

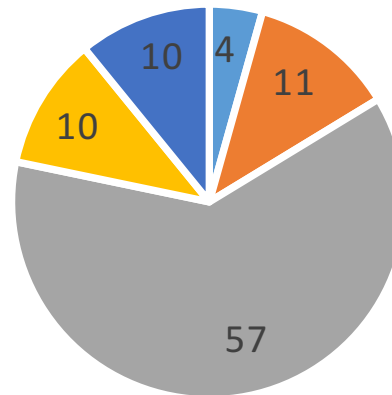
および2015年関東・東北豪雨を例として-

東北大学・准教授 小森大輔

参加者数 **70名** (Bコース 74名)

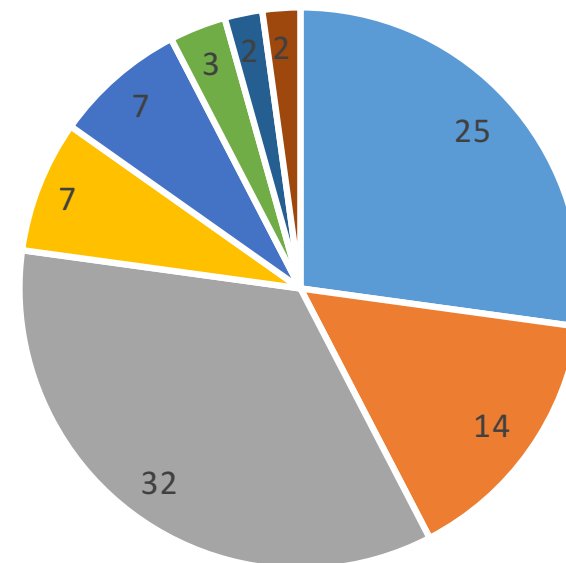
アンケート結果 (※数値は回答数)

1. あなたの職場は？



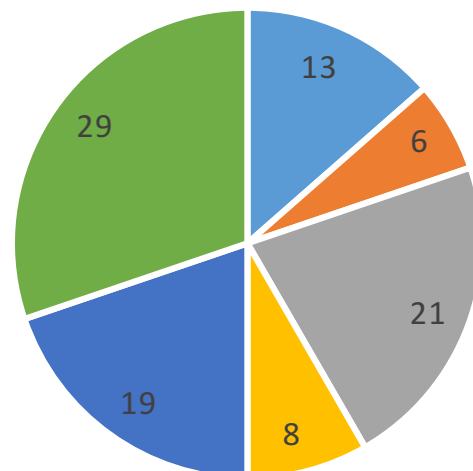
- 大学(学生除く)
- 研究機関(官民間わず)
- 民間会社
- 学生
- その他(団体職員)

2. あなたの住まいは？



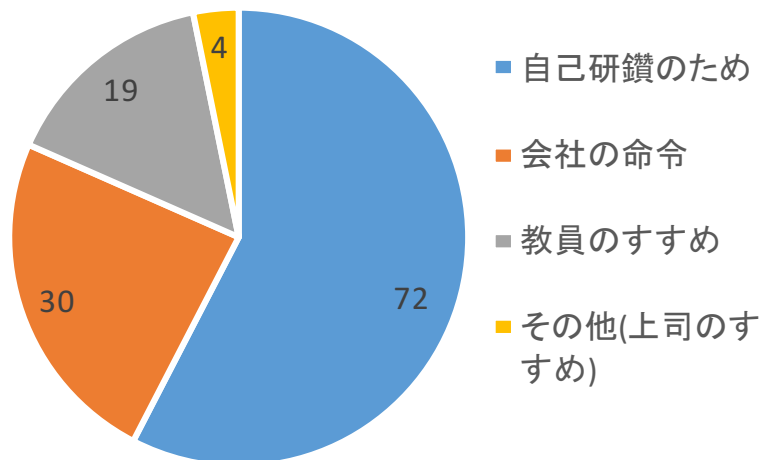
- 北海道
- 東北
- 関東
- 中部
- 近畿
- 中国
- 四国
- 九州・沖縄

3. あなたはどのような方法で本研修会を知りましたか？(複数回答OK)

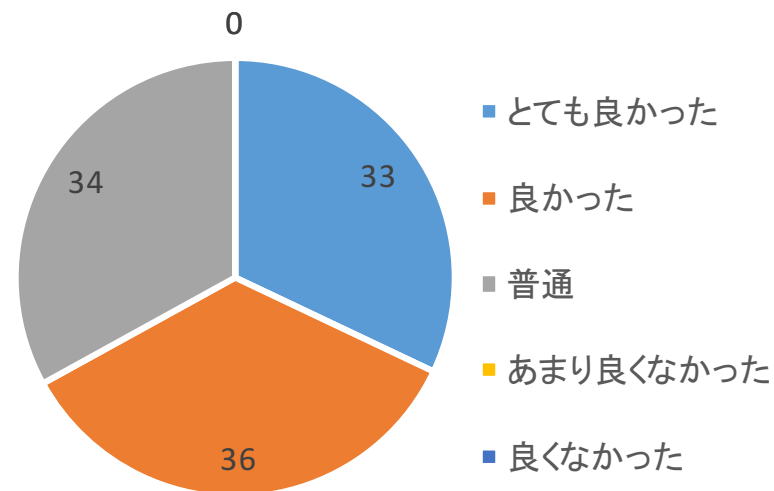


- 研究会ポスター
- 土木学会誌
- WWW
- 研究室の教員
- 知人
- その他

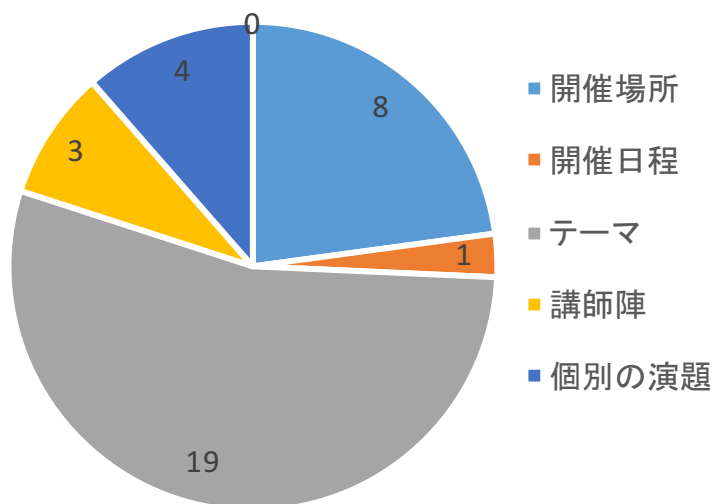
4. 研修会に参加された理由は？
(複数回答OK)



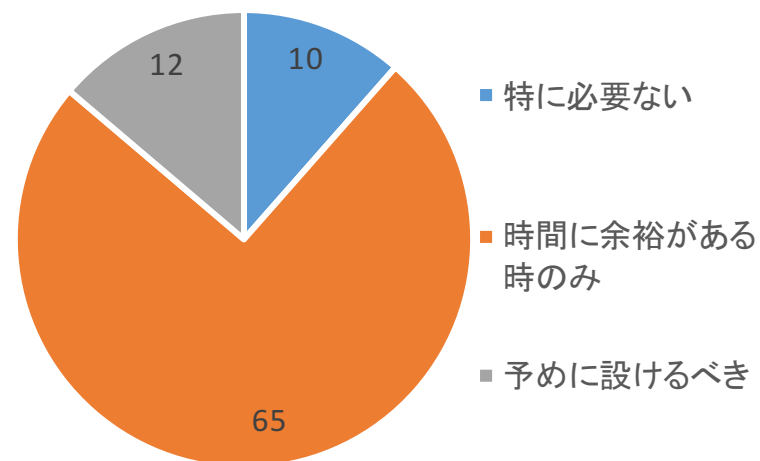
6. 研修会に参加して、良かったと思いますか？



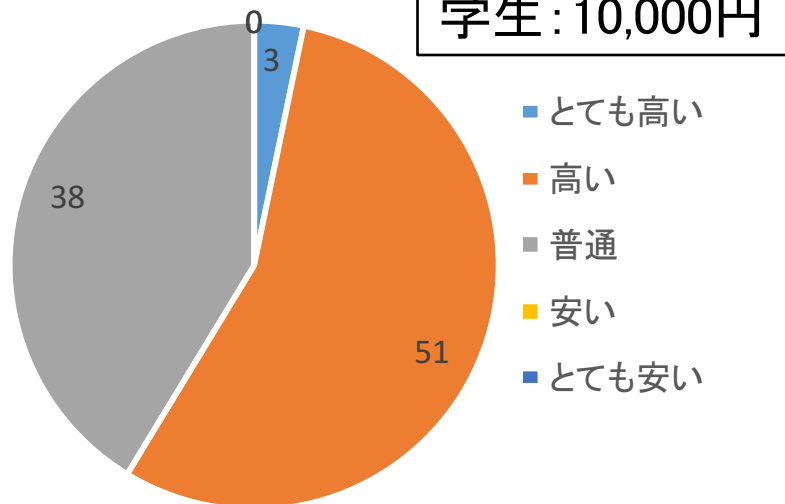
5. 研修会に申込み判断は、以下の内、
どれですか？ (複数回答あり)



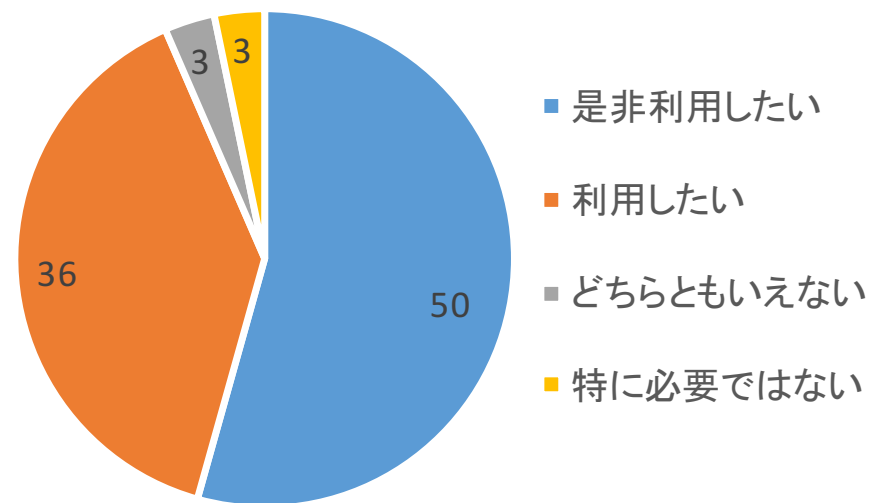
7. 質問時間を特別に設ける方がよいでしょうか？
また、長短はいかがでしょうか？



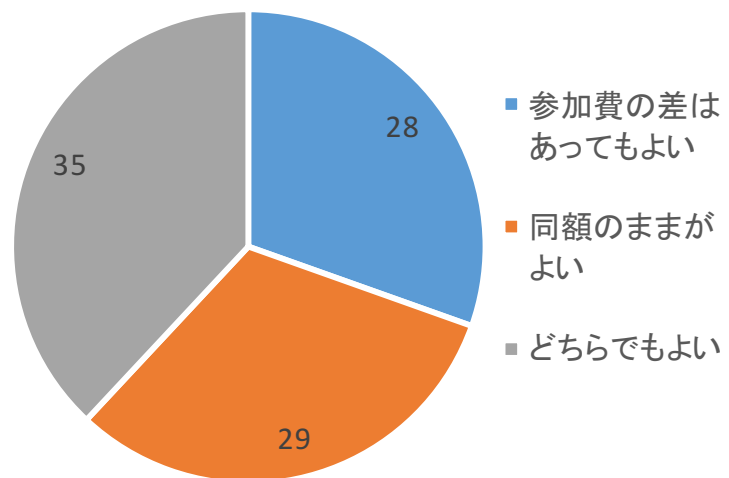
8. 研修会の参加費については
いかがでしょうか？



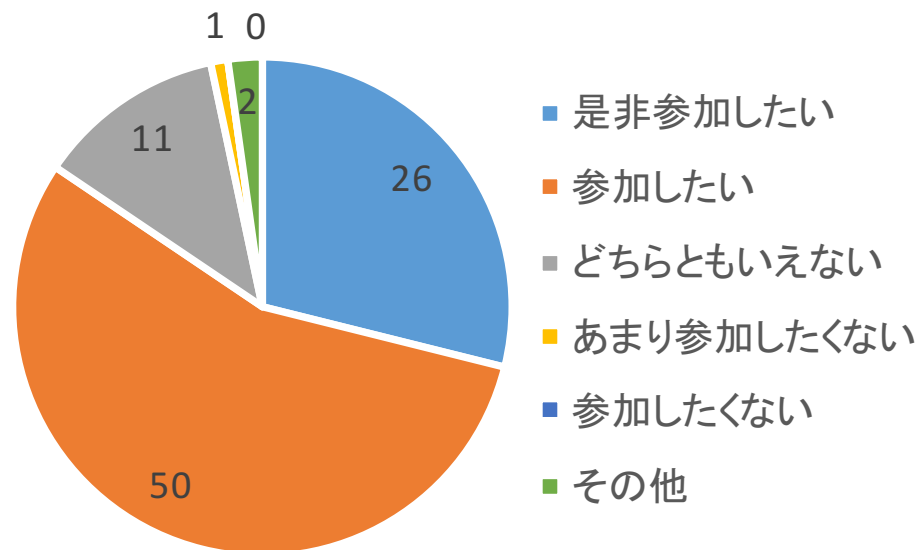
10. 講師の方の講義スライドをコピーする機会があれば利用しますか？



9. 現在、土木学会の会員・非会員に関係なく同額の参加費を頂いておりますが、このような参加費の設定についてどのようにお考えでしょうか？



12. 今後の講習会にも参加したいと思えますか？



11. 今後、取り上げてほしいテーマがありましたら、お書き下さい。

- 気象観測の基礎、移動床水理の基礎
- 水理学の基礎、計算機シミュレーションの基礎
- 今回も取り上げられていた2015関東・東北豪雨のように実際の洪水浸水時の対応や今後の考え方
- 設計と計画のズレをどのように現場で合わせているか
- 維持管理に関するテーマ
- すぐに研究に応用できる技術
- 総合土砂管理
- 数値計算の行動化に伴い、プログラムコードのブラックボックス化が心配
- コードを含む講義
- 世界の水防(今回のタイ洪水のようなもの)
- 河川堤防について
- 数値計算(河川における水位)の初歩
- 災害関連をもっと多くとりあげてほしい
- 河川構造物についての講習
- Aコース5・6コマ目がまさに聞きたいテーマでした
- 地球温暖化に関連して、大学、国研究機関、財団、民間等様々な機関の国内を対象とした将来の気候変動の検討内容を一同に集めた企画(気温、降水、積雪、流出解析他)
- 世論的に話題のテーマや最新の話題、動向、少し前に話題になった案件のその後の情勢と解説など
- 今後も同様なテーマで良いと思う。さらに民間企業の方が発表しても良いと感じた。そちらの方がより実務的な内容も知れる。
- 1日目は各年のテーマに沿った演題、2日目は近年のトピックを1日目以外のテーマから

13. ご意見・ご感想・ご質問等がありましたら、ご自由にお書き下さい。

- 研修会なので、大学の授業のようにもっと**基礎的なこと**をやってほしい
- 実務者を対象にした**水理学の授業**をやってほしい
- 委員会の資料を流用しているようで講師のスライドの字が小さく見にくい、きちんと見える、読めるようにすべきである
- スライドの文字が小さく、せっかく説明して下さっているのに十分に理解ができないことが多く残念
- 質問者にマイクを使って発言するようにしてほしい
- **懇親会**をやってほしい
- 調整が難しいかも知れませんが、同じテーマを毎年継続的に聞きたい
- 講義の半分は難しすぎて理解できなかった
- 自分の勉強不足もあると思うが、**もう少しレベルを下げた講義**をお願いしたい
- 若手技術者の**基本的な水理学の知識**が、やや弱いように思っております
- 内容的にはついていけない所もありましたが、パワーポイントも頂けるとのことで、戻ってから再度見直したい
- **ランチマップ**ありがたかったです
- 司会進行は全講義に居た方が良くと思いました
- **スライドの後日配布**は今後も是非継続してほしい

第21回



シンポジウム 2016 in やまぐち

やまぐち水ISHIN～明治維新胎動の地、やまぐち発の水文化～



8/25のシンポジウム：参加者数 524名

8/26の現地見学会：参加者数 27名

第21回



水

シンポジウム

2016 in

やまぐち

やまぐち水 ISHIN

～明治維新胎動の地、やまぐち発の水文化～

錦川



一の坂川



秋芳洞

8月25日(木) シンポジウム

- 特別講演 ■ テーマ別分科会
- 基調講演 ■ パネル展示

山口県総合保健会館
(山口市吉敷下東三丁目1番1号)
9:30～17:00(9時開場)

入場無料

8月26日(金) 現地見学会

参加費2,000円(昼食込み・小学生以下半額)
定員40名(先着順) 集合・解散/湯田温泉

「水の恵みと歴史探訪」
～明治維新へタイムトラベル～
8:45～17:00



※申し込みについて
シンポジウム、現地見学会ともに事前申し込みが必要です。
詳細は、QRコードよりホームページをご確認ください。

締切8月12日(金) 必着



■ シンポジウム会場 ■

山口県総合保健会館
(山口市吉敷下東三丁目1番1号)

交通アクセス

JR 湯田温泉駅からタクシーで約7分
中国自動車道小郡JCTから車で約20分

■ 駐車場案内 ■

隣接駐車場収容台数 300台。
駐車場には収容台数に制限がございます。
ご来場の際は、公共の交通機関をご利用下さい。



参加申込
お問合せ
第21回水シンポジウム2016inやまぐち
<http://www.mizusinpo2016.com>
E-mail/info@mizusinpo2016.com
フリーダイヤル 0120-825-026
(受付時間平日 9:00～17:00)

開催内容
お問合せ
第21回水シンポジウム2016inやまぐち実行委員会
山口県土木建築部河川課(事務局)
〒753-8501 山口市山口市滝町1番1号 /
TEL 083-933-3770/FAX 083-933-3789

同時開催
やまぐち水辺の写真館
フォトコンテスト 締切7月20日(水) 必着
応募方法等、詳しくは、水シンポジウムホームページよりご確認ください。

主催 / 第21回 水シンポジウム 2016 in やまぐち実行委員会

(公社) 土木学会水工学委員会・国土交通省中国地方整備局・山口県・山口市
共催 (一財) 防災研究協会、(一社) 中国建設弘済会、(一社) 日本建設業連合会中国支部、(一社) 建設コンサルタンツ協会中国支部、
(一財) 日本建設情報総合センター中国地方センター、(一財) 山口県建設技術センター、(一社) 山口県建設業協会、
(一社) 山口県測量設計業協会、中国地質調査業協会山口県支部

後援 / KRY山口放送、山口新聞社

このシンポジウムは、河川財団による河川基金の助成及び防災研究協会による助成を受けています。

- 土木学会CPDプログラム
- CPDS認定プログラム
- 全建設技師CPD認定プログラム



水シンポジウム

-市民と学界と行政の橋渡し-

- 水は災害ももたらしますし、恵みももたらします。
- 水災害から国・地域・家族を守る。環境・景観も含め水の恵みを守り、活かす。
- 自然の懐を借りて生きている。
- これらを通して、人は水と関わり、文化を創ります。
- でもその関わり方は、河川流域や地域によって違います。
- 地球温暖化により関わり方を変更しないと成らないです。

人と水との好ましい関わり方を全国に発信する。

報道

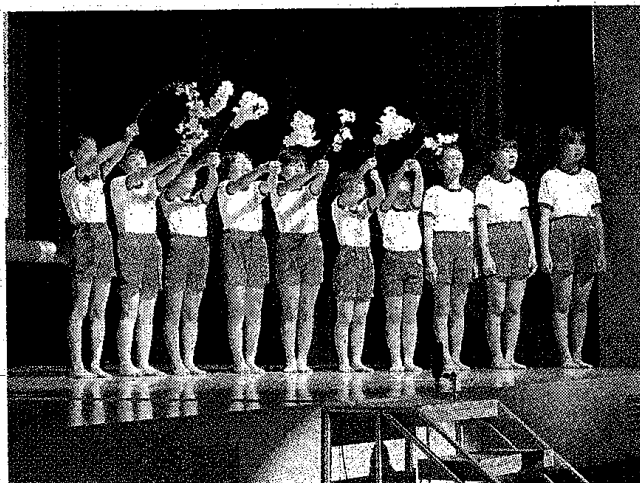
平成28年8月26日(金) 山口新聞

山口で水シンポ 市民ら520人参加

環境への取り組み発表

第21回「水シンポジウム 2016 in やまぐち」が25日、山口市吉敷下東の県総合保健会館であった。県と山口市、土木学会水工学委員会、国交省中国地方整備局でつくる実行委員会の主催。山口新聞社など後援。水に関する問題を市民と行政、専門家が議論し、相互理解と情報共有を図ろうと1996年から全国各地で開催、県内での開催は初めて。市民や行政関係者ら約520人が参加した。

美祢市の秋吉台科学博物館の藤川将之学芸員が「秋吉台カルスト地域に広がる



ゲンジボタルの保護活動について発表する大殿小学校の児童たち 25日、山口市

地下水系」と題して基調講演。分科会では、気候変動に対応した防災・減災のあり方や水の恵みと水辺の魅力をテーマに専門家や市民が意見交換した。

川遊びや環境学習に取り組んでいる防府市の小野小学校とゲンジボタルの人工飼育、放流を続けている山口市の大殿小学校が事例発表。「市民、行政、学識経験者が協働して山口独自の取り組みや人と川との深いつながりを発信し、水辺・流域環境を活用した地域づくりを進める」などとする提言を取りまとめた。

26日は山口市の一の坂川や萩市の阿武川ダムを巡る現地見学会が開かれる。

水シンポジウム 2016 in やまぐち

やまぐち水ISHIN～明治維新胎動の地、やまぐち発の水文化～

- 水は災害ももたらしますし、恵みももたらします。
 - ✓ 近年の豪雨・土砂災害
 - ✓ 秋芳洞などにみられる水資源、地下水
 - ✓ ホタルに代表される河川の物質・生物
- 自然の懐を借りて生きている。
 - ✓ 山口ではどうしてきましたか？
- 気候変動に対してどう適応してゆきますか？
 - ✓ 台風の頻度は下がりますが、強力なのが来ます。
 - ✓ 梅雨による豪雨は増えます。
 - ✓ 季節風による雪は減ります。融雪出水はなくなります。
- 何をやまぐち発で発信すべきでしょうか？



シンポジウム 2016 in やまぐち

やまぐち水ISHIN～明治維新胎動の地、やまぐち発の水文化～

まとめ（提言）

- 海に山に多彩で美しい自然に恵まれ、常に新しい時代を切り開いてきた歴史・文化を鑑み、啓発活動を通して豊かな水循環を将来に継承します。
- 全国に先駆けたダムの有効活用等の最新技術・情報の利活用等、気候変動に適用するため、ソフト、ハードを含めて人、自治体、国のみんなで協力して対策を進めます。意識して情報を取りに行く**情意**運動，皆で災害に克つ**皆克**運動に取り組みます。
- 市民・行政・学識経験者が協働して、山口独自の取組や人と川との深いつながりを発信し、水辺・流域環境を活用した地域づくりを進めます。
- 気候変動への対応や水辺空間の魅力再発見等を推進し、次世代への提言も含めた「**やまぐち水ISHIN**」を全国に発信する。

平成 28 年度全国大会開催に伴う研究討論会

- 1) 研究討論会のタイトル
気候変動への適応研究推進に向けて！
- 2) 座長氏名：中北英一
所属：京都大学防災研究所
- 3) 話題提供者氏名・所属：
風間聡・東北大学，
神田学・東京工業大学，
深見和彦・国土技術政策総合研究所，流域治水
宮本仁志・芝浦工業大学，樹林化
矢野真一郎・九州大学，流木
有働恵子・東北大学，砂浜
森信人・京都大学，
- 4) 参加者数：125 名

主題

地球温暖化時の降水・洪水への適応策の提案だけでなく、水循環や水環境を含めた気候変動の影響評価、適応策の提案が求められている。しかし、影響評価研究に比較して、適応策の提案研究が十分に進み活用されているとは言いがたい。そのため、気候変動の様々な分野への影響が明らかとなっていることを踏まえ、適応に向けたより一層の研究推進および成果の発信が必要であると考え。本討論会においては、トップダウンとしての基本計画的な位置づけでの実務機関と気候研究コミュニティの連携を保ち、かつボトムアップとして、水工学として適応のために議論・研究しておくべき「外力や環境の変化に伴う技術、計画論とは何なのか？」を、水工学の観点から議論するものである。



オーガナイザー：

氏名：中北英一

住所：京都大学防災研究所

〒611-0011 宇治市五ヶ庄

電話・FAX 番号：0774-38-4265

セッションのタイトル：気候変動による影響への適応

Adaptation to the impact due to climate change

主 題：気候変動の影響は近年の豪雨災害の増加により顕著化しており防災対策の必要性は疑う余地がないばかりでなく、利水や環境といった側面でも気候変動への適応が急務となっている。本セッションは、気候変動や地球規模での環境変動をキーワードに、水圏における治水、利水、環境といった様々な視点から取り組む影響評価や適応研究について幅広く議論し、より横断的な研究の推進、連携の活性化、新たなテーマの発掘を目指す。

セッション I，座長：小林健一郎

- ① 超過洪水による上流側の氾濫を考慮した洪水頻度解析
- ② 大気再解析データと分布型水循環モデルを用いた多数年におよぶ河川流量データの擬似作成に関する研究
- ③ RCM5 を用いたゲリラ豪雨と大気不安定の将来変化に関する解析
- ④ 砂防ダムによる流木災害リスクの低減効果評価の試み
- ⑤ "気候変動に伴う台風経路変化による高潮偏差の影響評価 —第二室戸台風を用いた検討—"
- ⑥ 気候変動を考慮した沿岸浸水に対する適応策の最適化検討

セッション II，座長：矢野真一郎

- ① 北海道における Winter Index（冬の厳しさ指数）の変動分析
- ② 気候変動下における堤防の強靱化策：2015.9.10 関東・東北豪雨災害の経験から
- ③ マルチ温暖化シナリオに基づいた平成25年台風18号の擬似温暖化実験
- ④ 礫河川に繁茂するオオカナダモの消長における出水攪乱規模と水温の変化の影響
- ⑤ 阿寒湖におけるマリモ球状化に影響を与える風の将来予測
- ⑥ フィリピン国パンパンガ流域における渇水アセスメント

2016.10.7 水工学委員会

基礎水理部会の活動報告と活動計画

■第 1 回基礎水理部会

- ・日時：平成 28 年 9 月 8 日（木）12:00-13:00（終了）
- ・場所：仙台国際センター 会議棟 1 階 【小会議室 2】

■第 2 回基礎水理部会

- ・日時：平成 28 年 10 月 16 日（日）
- ・場所：松江ニューアーバンホテル 別館 1 階会議室（予定）

■基礎水理部会見学会

- ・日時：平成 28 年 10 月 17 日（月）～10 月 18 日（火）
- ・場所：斐伊川，旭川

■河川砂防技術基準をベースとした意見交換会

- ・日時：平成 28 年 11 月 9 日（水）（予定）
- ・場所：土木学会講堂

■基礎水理シンポジウム 2016

- ・日時：平成 28 年 12 月 5 日（月）
- ・場所：土木学会講堂
- ・講演テーマ：浮遊砂，SS，ウォッシュロード，泥流関連
- ・講演者：依頼中

iRIC 2016年度活動報告

- 2016年4月5日～7日：米国アリゾナ州ツーソン市、USGS主催iRIC講習会
- 2016年4月21日：韓国ソウル市、国立ソウル大学、iRIC開発者向け講習会
- 2016年5月22日：米国フロリダ州ウェストパームビーチ市、EWRI Congress 2016 中期間中のiRIC講習会
- 2016年5月22日～25日：千葉県幕張市幕張メッセ、日本地球科学連合大会、iRIC ブース展示
- 2016年6月15日～17日：富山県富山市、富山県民会館、iRIC講習会
- 2016年8月25日～26日：スリランカ、キャンディ市(ペラデニア大学)、iRIC講習会
- 2016年8月29日～31日：スリランカ、コロンボ市、IAHR-APDでiRICブース展示
- 2016年9月1日、2日：スリランカ、コロンボ市(モラトワ大学)、iRIC講習会

iRIC 2016年度今後の活動予定

- 2016年10月12日、13日：ベトナム、ホーチミン市、iRIC講習会
- 2016年11月7日：滋賀県大津市iRIC講習会
- 2017年1月25日、26日：タイ、チョンブリ市、iRIC講習会

iRIC アップデート情報(2016年10月、Ver.3.0リリース予定)

主なアップデート内容：自動アップデート機能、背景画像の自動取り込み機能、時系列 Bigデータの取り込み機能（例えばX-Rain情報）、パーティクル機能の充実など

iRIC講習会富山



iRIC講習会ツーン



IAHR-APDコロンボでのブース展示



UNIVERSITY OF MORATUWA
Wisdom is all wealth



iRIC講習会コロンボ

iRIC富山講習会の様子



水文部会報告

- 9月8日(木)12:15~13:00
- 水工学委員会 水文部会
- 国際センター会議棟1階 小会議室3

- 参加者:

小田僚子, 児島利治, 小林健一郎, 小森大輔,
佐山敬洋, 野原大督, 藤村和正, 横尾善之,
山口至誠, 風間聡

水文部会報告

- 水文部会研究集会
 - 10月14日金曜～15日土曜
 - 秋田, 雄物川流域, 物部長穂資料館, 強首輪中他
- レーダー雨量計50周年シンポジウム
 - 10月18日13:30～17:30, 東京大学武田ホール
- 第17回地下環境水文学に関する研究集会
 - 11月26日～27日(予定)
 - 筑波大学総合研究棟SB112(羽田野先生)
- 次回 水工学講演会(九州大学)

水シンポジウム報告

- 第一分科会「気候変動に対応した防災・減災の在り方」～ISHINのくにから提案～
 - 8月25日（第一分科会は水文部会とりまとめ）
 - 山口県総合保健会館
 - 参加者約150名
 - 21, 22日研究発表会，現場見学会
 - 次回 沖縄県



第21回
水シンポジウム
2016 in やまぐち
8月25日(木) シンポジウム
8月26日(金) 現地見学会
やまぐち水 ISHIN
～明治新助産の地、やまぐちの水文化～

土木学会全国大会関連報告

- 共通セッション「気候変動による影響への適応」 小林健一郎先生 幹事長
- 研究討論会「気候変動への適応研究推進にむけて」 中北先生司会
- 研究討論会「水工情報システムの発展」



河川部会の活動報告および活動計画

◆河川技術に関するシンポジウム

第 23 回 : H29/6/16 (木), 17 (金) 東京大学弥生講堂にて開催予定。

◆今年度の活動予定

- ・ 活動 1) 論文募集・査読・論文集の発刊・シンポジウムの運営
- ・ 活動 2) オーガナイズドセッションの企画・運営
 特定テーマ 2 件, ポスターセッション関連テーマ 2 件
- ・ 活動 3) ワーキンググループ活動
 観測技術・解析技術 WG、河川管理のための気候変動適応 WG、堤防 WG
- ・ 活動 4) 「河川技術論文賞」: 第 1 回目の受賞者選定
 査読・候補者選定を年内目処で実施→第 23 回で受賞者発表予定
- ・ 活動 5) 河川砂防技術基準に関する意見交換会
- ・ 部会会議: 年間 3 回を予定 (11 月, 2 月, 4 月), その他メールで意見交換

◆報告

- ・ 部会長の交代
 服部前部会長→ 戸田 (名大)
- ・ 副部会長: 渡邊明英 (東京建設コンサルタント)
 諏訪義雄 (国総研)
 田村浩敏 (建設技術研究所)

以上

環境水理部会活動報告

部会長 宮本(芝浦工業大学)

新規部会オブザーバー:

吉川氏(北見工大), 牧野氏(東北大), 片岡氏(東京理科大)
大久保氏(滋賀県立大)

次年度研究集会@鹿児島(齋田) 2017.05 開催予定

河砂技術基準意見交換会@応用生態工学会 2016.09

WG:閉鎖性水域研究WG(矢島):10/14ダム貯水池ジョイントシンポ

温暖化適応WG(矢野):8/19 第3回ワーキング

樹林化WG(赤松)

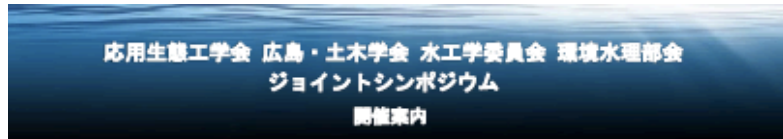
動的総合土砂管理に関するWG(竹林)

環境水理教科書英文化WG(矢野)

ワーキンググループ名：閉鎖性水域WG

WG主査：島根大学 矢島 啓

「ダム貯水池の水環境に関する現状と将来」に関するシンポジウム開催 応用生態工学会とのジョイントで10月14日(金)，広島市内で開催予定



～ダム貯水池の水環境に関する現状と将来～

○シンポジウムの開催趣旨

全国のダム貯水池では、アオコの発生をはじめとした富栄養化現象や底層部の貧酸素化現象、それらに伴う異臭や着色の発生等、水環境に関する様々な問題が顕在化しています。各ダムにおいては、これまでにこれらの現象に対する対策検討や設備の設置、運用、対策後のモニタリング調査が行われています。しかしながら、未だ検証段階であったり、問題が解決できていないダムが多くあり、今後、様々な観点から評価や検証を行うとともに、新たな対策設備の導入や運用の実施が求められています。

本シンポジウムでは、応用生態工学および環境水理学の観点から、「ダム貯水池の水環境」に関する行政、研究者、実務者のそれぞれの立場での現状や課題について、皆様を知っていただくとともに、現象解明や解析技術を含む予測・評価技術、対策手法等の課題や今後の展開、展望について討議したいと考えております。

専門の分野や職種を問わず、広くみなさんの参加をお待ちしております。

参加
無料

〔日時〕平成 28 年 10 月 14 日(金) 13:10～17:30 (受付 12:30～)

〔会場〕広島 YMCA 本館
B1F 国際文化ホール
〒730-8523 広島県広島市中区八丁堀 7-11

●プログラム

- 12:30～ 受付開始
- 13:10～13:15 開会挨拶・趣旨説明 赤松 良久 (山口大学大学院 理工学研究科 准教授)
- 13:15～13:50 講演①「中国管内のダムの水質管理の現状と課題」
清山 勇 (国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所所長)
- 13:50～14:25 講演②「ダム貯水池水質解析・水質対策の実務上の対応と課題」
松尾 克美 (中電技術コンサルタント(株) 環境部部長)
- 14:25～15:05 講演③「閉鎖性水域の流動・水質解析シミュレーターの現状と課題」
新谷 哲也 (首都大学東京 都市環境学部 助教)
- 15:05～15:40 講演④「ダム貯水池の新たな水質対策手法と今後の展開」
～ダム貯水池内の生態工学的手法を中心に～
井芹 享 (西日本技術開発(株) 環境部 部長代理)
- 15:40～16:20 講演⑤「ダム貯水池水質管理システムの構築と今後のダム管理」
矢島 啓 (島根大学大学院 工学研究科 准教授)
- 休 憩 -----
- 16:30～17:30 総合討論会
コーディネーター 山本 民次 (広島大学大学院 生物圏科学研究科 教授)
- 17:30～ 閉会挨拶

主催：応用生態工学会 広島・土木学会 水工学委員会 環境水理部会
後援：国土交通省 中国地方整備局、一般社団法人 建設コンサルタント協会 中国支部

会場へのアクセス

会場：広島 YMCA 本館
(B1F 国際文化ホール)
広島市中区八丁堀7-11

- ・市内電車(5番以外)「立町」電停
下車徒歩3分
- ・JR 広島駅南口からタクシーで10分
- ・広島バスセンターから徒歩5分

参加申込・問い合わせ

※定員 200名 (先着順)

- 添付の申込用紙に記入の上、ファックスにてお申込み下さい。
- 同等内容のEメールでも受け付けます。

応用生態工学会普及連携委員会 事務局
〒734-8510 広島市南区出汐二丁目 3-30 中電技術コンサルタント(株)内 (担当：三池、山原)
TEL:082-256-3356 FAX:082-256-3394 E-mail: mujira@ccnet.co.jp, yamshara@ccnet.co.jp

※ 申込締切は 平成 28 年 9 月 30 日(金)まで

※ CPD申請書・受講証明書について
必要な方は、CPD受講証明書を発行いたします。

CPD 認定 4.25 単位
・建設コンサルタント協会
【番号:201608180001】
・土木学会
【番号:JSCE16-0848】

参加申込書 (FAX 宛先:082-256-3394)

所 属			
〒		住 所	
ご 通 信 先	TEL	FAX	E-mail

参加者氏名	

※定員になり次第、申込みを締め切らせていただきますので、あらかじめご了承ください。

温暖化適応の環境水理学的視点からの探求WG

[適応WG]の活動報告: WG主査 矢野真一郎(九州大学)

【メンバー:新規追加2名あり】

宮本(芝工大)・矢島(島根大)・田代(名大)・赤松(山口大)・梅田(東北大)・工藤(いであ)・櫻井(土研)・鈴木(八千代)・鶴田(土研)・中山(神戸大)・矢野(九大)・湯浅(パソコン)・井芹(西技)・石塚(香川大); [部会外メンバー]朝位(山口大)・上原(パソコン)・對馬(土研)(計17名)

【第3回WG】

2016年8月19日(金) 14:00~17:00 土木学会E会議室

参加者:15名(うちWG外2名)

- ・プロジェクト研究の推進について協議.
- ・水環境関連の影響評価と適応のレビュー論文の共同執筆を決めた.
- ・科研費への申請を計画.
- ・鶴田様:適応関連の先行研究紹介.

【今後の予定】

- ・12月中に第4回WGを福岡にて開催予定.
- ・GL適応小委員会との協働を図る.



水害対策小委員会活動報告

2016年7月以降の活動

2016年8月31日：土木学会水工学委員会北海道豪雨災害調査団の結成

2016年9月1日：土木学会水工学委員会東北水害災害調査団の結成

2016年9月7日：東北水害の速報会を全国大会開催に合わせて東北大学で実施（参加人数：100名）



- 2016年9月13日：北海道豪雨災害の調査報告書（速報版）の作成
2016年9月29日：北海道豪雨災害の速報会を札幌で実施（参加人数：453名）



2016年度の活動予定

- 2016年10月以降：国内・海外の水害調査サポート
2016年3月：河川災害に関するシンポジウム（九州大学）
- 調査方法の統一化WG
 - 消防連携WG
 - 災害写真データベースシステムの構築

流量観測技術高度化小委員会報告

神戸大学 藤田一郎

2016年度 流量観測現地ワークショップの報告

【日程・場所】

日時: 2016年4月26日(月)～29日(金)

観測地点: 新潟県小千谷市、信濃川、旭橋

作業時駐車場予定地: 旭橋下流側 信濃川左岸天端・右岸高水敷

【観測】

4月26日10:00～19:00: 観測準備(主に標定点・水位計の設置、座標測量)

4月27日10:00～20:00: 観測準備・予備観測・夜間観測

4月28日10:00～19:00: 本観測

20:00～: 懇親会

4月29日10:00～12:00: 本観測

12:00～: 解散

参加人数: 61名

参加者リストと計測内容

組織名	代表者 氏名	参加予定人数 (代表者込)	日程				観測項目	懇親会 参加人数
			4/26(火)	4/27(水)	4/28(木)	4/29(金)		
土木研究所	小関博司	4名	○	○	○	○	ADCP 観測	4名
神戸大学	藤田一郎	5名	○	○	○	○	画像計測	5名
横河電子機器(株)	吉村淳也	1名			○(午後)		見学	1名
(株)福田水文センター	北野和之	観測7名 見学1名		○	○		画像解析 電波流速計	8名
横河電子機器(株)	中島洋一	3名		○(午後)	○		電波流速計による観測	3名
三菱電機エンジニアリング株式会社	平謙二	4名	○	○	○	○	水位計測 (レーザ・画像処理)	2名
有限会社タイプエス	設楽 丘	3名		○	○	○	ドローンを利用した浮子投下装置ほか	3名
高知高専 岡田研究室	岡田将治	4名 (うち学生3名)		○(夕方着予定)	○(終日観測)		採砂器 水中採水器	4名
ハイドロシステム開発	山内猛	8名			○	○	ADCP 観測サポート	8名
ザイレムジャパン	榊原浩二	4名	○	○	○	○	ADCP 観測	4名
富山県立大学	手計太一	5名		○	○	○	ADCP 観測	5名
日本工営株式会社	岩本演崇	3名	○	○	○	○	STIV 観測((有)データダイナミクスと共同)	3名
三井共同建設コンサルタント株式会社	近者敦彦	5名		○(午後)	○		STIV 動画観測	5名
(株)東京建設コンサルタント	小林範之	4名	移動 現地状況確認	○	○	撤収 移動	画像法 (新標定手法)	2名

観測参加者 61名、懇親会参加者：57名

第五回 流量観測の高度化に関する勉強会の報告

日時:2016年7月18日(月) 12:30~17:25

場所:新潟大学旭町キャンパス 有壬記念館

参加人数:55名

時間	題目	発表者
12:30-12:35	開会の挨拶	藤田一郎(神戸大学)
12:35-12:40	信濃川合同観測の概要	小関博司(土木研究所)
12:40-13:00	講演1:ADCP観測結果報告in第5回合同観測	笹川幸寛(ハイドロシステム開発)
13:00-13:20	講演2:ISOに関する今後の課題(仮)	萬矢敦啓(土木研究所)
13:20-13:40	講演3:STIV解析の精度評価に関する一考察	藤田一郎(神戸大学)
13:40-14:00	講演4:今後の流量観測の方向性(私見)	二瓶泰雄(東京理科大学)
14:00-14:20	講演5:河床波は水面波の副産物か?	安田浩保(新潟大学)
14:20-14:40	講演6:ナローマルチビームによる河床波移動速度の計測	橘田隆史(ハイドロシステム開発)
14:40-15:00	講演7:水表面情報を用いた洪水中の河床高及び流量推定	工藤俊(土木研究所)
15:00-15:20	講演8:電波式流速水位計の開発	墳原学(横河電子機器)
15:20-15:40	講演9:ジャムナ川観測から得られる知見(仮)	岡田将治(高知高専)
15:40-16:00	講演10:aDcpを用いたバングラデシュ国ジャムナ川の護岸周辺部の流れと土砂動態の解明	星野剛(新潟大学)
16:00-16:20	講演11:スマートフォンを用いた可視化洪水観測の試みと展望	椿涼太(名古屋大学)
16:20-16:40	講演12:現場状況把握の高度化(フィールドビューア)	平謙二(三菱電機エンジニアリング)
16:40-17:00	講演13:高精度俯角測定による流況観測用撮影標定手法の現地試験	小林範之(東京建設コンサルタント)
17:00-17:20	講演14:超緊急法による高水流量観測について	土田宏一(福田水文センター)
17:20-17:25	閉会の挨拶	笹田俊治(土木研究所)

グローバル気候変動適応研究推進小委員会の活動報告:

【メンバー: H28年10月現在: 3名の追加.】

委員長: 矢野真一郎(九州大学), 幹事長: 小林健一郎(神戸大学)

委員:

水工学: 赤松良久(山口大学)・音田慎一郎(京都大学)・里深好文(立命館大学)・佐山敬洋(京都大学)・多田毅(防衛大学校)・田中智大(京都大学)・田村浩敏(建設技術研究所)・椿涼太(名古屋大学)・戸田祐嗣(名古屋大学)・中北英一(京都大学)・中津川誠(室蘭工業大学)・中山恵介(神戸大学)・丸谷靖幸(京都大学)・溝口敦子(名城大)・宮本仁志(芝浦工業大学)・矢島啓(鳥取大学)

海岸工学: 森信人(京都大学)・山城賢(九州大学)

地盤工学: 石蔵良平(九州大学)・笠間清伸(九州大学)

土木計画: 多々納裕一(京都大)・藤見俊夫(熊本大)

【第1回小委員会】

- 2016年9月6日に仙台にて開催(13名参加). 小委員会の活動方針について議論した. 次回は12月頃. 11月18日に大阪で幹事会を開催予定.

【今後の予定】

- 水工学を核とした適応策のあり方や研究推進に向けた方向性を議論.
- 次年度の土木学会重点研究課題への応募, 年次講演会での適応に関する共通セッションや討論会の企画, 適応に関するシンポ・WSなどの開催, 科研や大型プロジェクトの企画, などを予定.



主催：土木学会水工学委員会
共催：実践水文システム研究会

後援：国土交通省
水文・水資源学会

我が国の レーダ雨量計 研究開発50年の歩み

日時

2016年
10月18日(火) 13:30-17:30

東京大学本郷キャンパス 武田先端知ビル5F 武田ホール
東京メトロ千代田線 根津駅1番出口徒歩5分

来賓

山田 邦博 (国土交通省水管理・国土保全局長)

登壇者・コーディネーター

中北英一 (京都大学)

深見和彦 (国土技術政策総合研究所)

木暮陽一 (元 関東地方整備局利根川ダム統合管理事務所)

畑 浩靖 (元 株式会社東芝)

水野雅光 (元 土木研究所)

兪 朝夫 (株式会社建設技術研究所)

森山聡之 (福岡工業大学)

藤原雅二 (近畿地方整備局淀川河川事務所)

大石 哲 (神戸大学)

山田 正 (中央大学)

※敬称略

*終了後、会場近くにて、懇親会(有料)を予定しています。
みなさまのご参加をお待ちしております。

定量的な雨量推定(QPE)、流量推定は極めて重要なレーダ雨量計の意義であるが、さらにそれを乗り越えて定量的降雨予測(QPF)や流量予測を行い、さらにその有効利用をすることなどの、より安全で快適な河川の管理を行うためにレーダ雨量計を用いた「研究・開発」が位置づけられてきた。今回は土木学会水工学委員会として、レーダ雨量計のハードとしての開発や整備だけでなく、その「研究・開発」とそれに関わった人々の50年の歩みと思いをこれからの研究者・技術者と共有して、うるおいの中にも安心がある国土を今後形成していく、ステップとしたい。

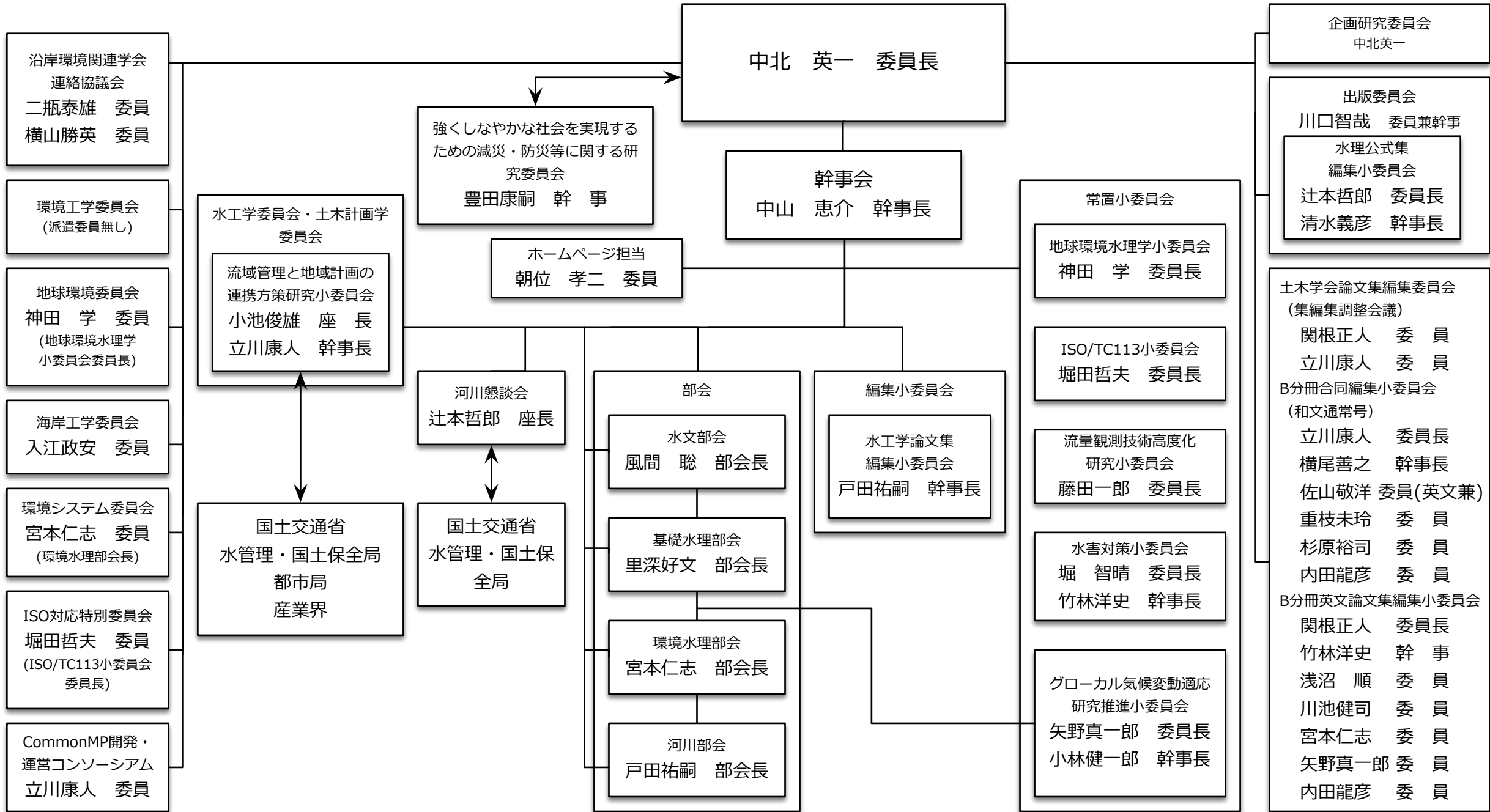
この行事は「土木学会認定CPDプログラム」(認定番号：JSCE16-0516)です。

お申し込み

レーダ雨量計50周年記念事業事務局

MAIL: radar50@chikyu.mei.titech.ac.jp

(東京工業大学 土木・環境工学系 鼎研究室)



「第 4 回流域管理と地域計画の連携方策に関するワークショップ」プログラム

流域管理と地域計画の連携方策研究小委員会

1. 開催趣旨

流域管理と地域計画の連携方策研究小委員会は、土木学会水工学委員会と土木計画学研究委員会の研究者からなる両委員会共同所管の小委員会として平成 14 年 10 月に設立されました。

小委員会では、水工学と土木計画学に携わる研究者および都市と河川行政関係者が今後の流域管理と地域計画の具体的な連携方策について議論し、国土交通省水管理・国土保全局の河川砂防技術研究開発制度等と連携して特定課題について共同研究等を実施することにより、流域管理と都市・地域計画の相互連携による総合的なまちづくりの実現を目指しています。

また、近年、水害が頻発・激甚化するとともに、渇水の頻発や深刻化の懸念が指摘されている中、水害に対する流域の安全性の向上や健全な水・物質循環系の構築等、流域計画・流域管理上の技術課題や政策課題を解決するためには、河川、都市計画の両分野に加え、下水道分野との連携が従来にも増して重要となっており、環境工学委員会との連携の取組も始めたところです。

流域管理と地域計画の連携方策に関する取組やその課題等を土木学会会員と行政で共有するとともに、これらの課題に対する理解を深めることを目指し、平成 25 年から「流域管理と地域計画の連携方策に関するワークショップ」を開催しております。皆様のご参加をお待ちしています。

※ 当ワークショップは、「土木学会 CPD プログラム」として認定されています。(認定番号：JSCE00-0000、単位数：○単位)

2. 開催日時、場所等

日時：平成 28 年 11 月 15 日（火）14:30～17:30

場所：土木学会講堂（東京都新宿区四谷）<http://www.jsce.or.jp/contact/map.shtml>

主催：土木学会 流域管理と地域計画の連携方策研究小委員会、水工学委員会、土木計画学研究委員会

3. プログラム（一部、予定の箇所有り）

【全体テーマ】水害リスクを踏まえたまちづくりの実践に向けて必要な議論とは何か ～事例研究等を踏まえて～

(1) 趣旨説明

(2) 基調講演

- ・石徹白 伸也（八千代エンジニアリング(株)）
- ・田中 尚人（熊本大学 准教授）

(3) 話題提供

- ・小笠原 敏記（岩手大学 准教授、土木学会台風 10 号東北水害調査団団長）
（土木学会台風 10 号東北水害調査団による調査結果（小本川）について）

(4) ディスカッション

- ・基調講演、話題提供の内容を題材にして、上記の全体テーマについて討議

〈ファシリテーター〉

小池 俊雄（東京大学大学院 教授）

〈パネリスト 五十音順（予定）〉

石徹白 伸也（八千代エンジニアリング(株)）、小笠原 敏記（岩手大学 准教授）、奥村 誠（東北大学 教授）、立川 康人（京都大学大学院 教授）、田中 尚人（熊本大学 准教授）、古米 弘明（東京大学大学院 教授）

※ 終了後、会場にて懇親会を予定しています。

4. 参加申し込み

定員（100 名）に達した場合は締め切らせていただきます。お早めに申し込みください。

参加費：無料（懇親会費：3,000 円（予定））

申し込み方法：平成 28 年 11 月 7 日（月）までに電子メールで下記の宛先までお申し込みください。

その際、ご所属・勤務先、お名前、電子メールアドレス、懇親会の出欠をお知らせください。

（宛先） 国土交通省水管理・国土保全局河川計画課河川情報企画室 古瀬 友紀

Tel:03-5253-8446, [furuse-t85aa @ mlit. go. jp](mailto:furuse-t85aa@mlit.go.jp)

（内容に関する問合せ先） 京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻 立川 康人

Tel:075-383-3362, [tachikawa @ hywr. kuciv. kyoto- u. ac. jp](mailto:tachikawa@hywr.kuciv.kyoto-u.ac.jp)

国土交通省水管理・国土保全局河川計画課河川情報企画室 目黒 嗣樹

Tel:03-5253-8446, [meguro- h25y @ mlit. go. jp](mailto:meguro-h25y@mlit.go.jp)

平成28年度 第61回水工学講演会 開催計画

- 場所：九州大学
伊都キャンパス
(〒819-0395
福岡市西区元岡744)



<http://www.kyushu-u.ac.jp/>

- 日程：平成29年3月15日(水)～17日(金)
- 幹事：矢野真一郎(九大)，杉原裕司(九大)

会場への交通

- **推奨:** 地下鉄空港線(JR筑肥線乗り入れ)にて, 福岡空港・博多駅・天神からJR九大学研都市駅まで30分程度. その後, バスで九大工学部まで15分程度.
- 博多駅, 天神から直通バスあり. (1時間程度かかります. 交通状況によっては1時間半以上)

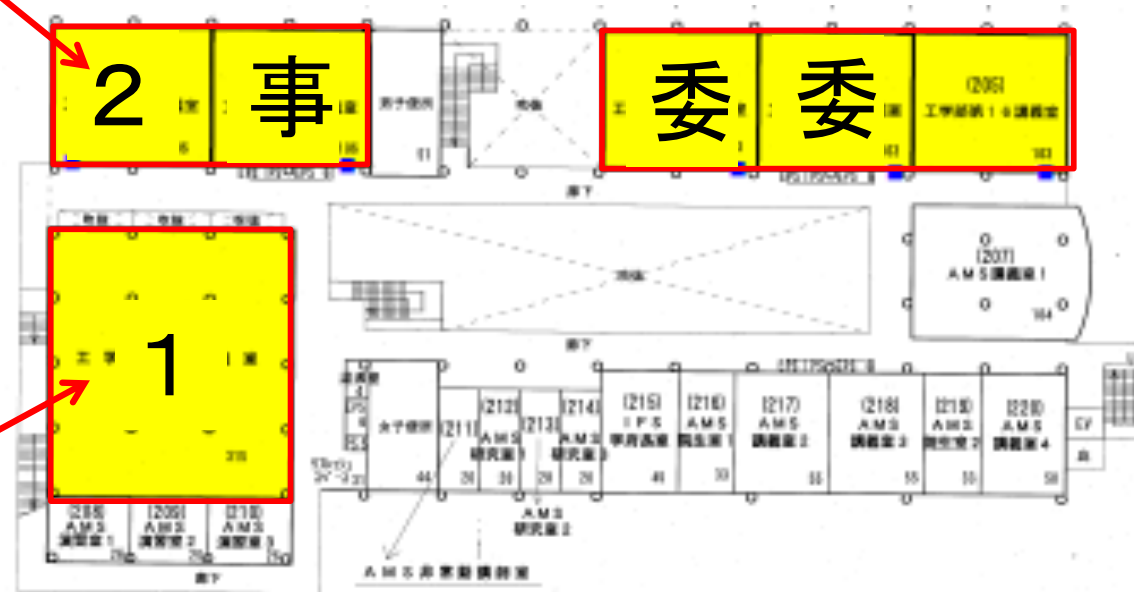


会場



総合学習プラザ:

- 大講義室(222名): **第1会場(開会式, 特別講演, の会場)として使用**
- 工学部第5(88名): 第2会場
- 委員会用会場, 事務局用として2~3部屋*準備可能(50or88名)



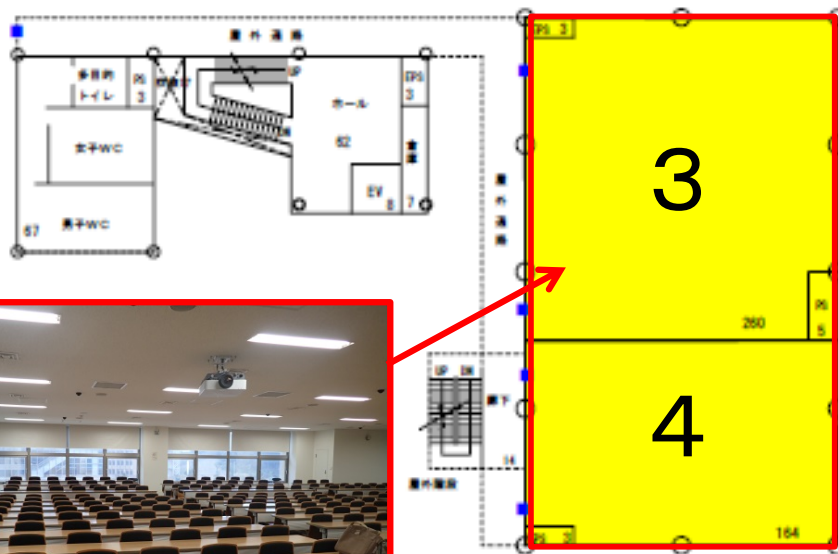
総合学習プラザ2階

会場

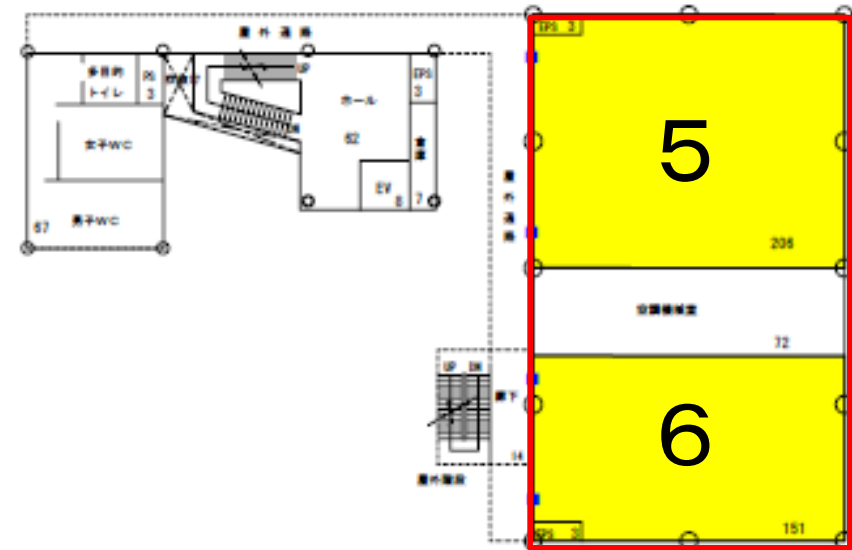


- 西講義棟：(第3～6会場)

工学部第1講義室(254名), 第2(133名), 第3(184名), 第4(111名)



西講義棟2階



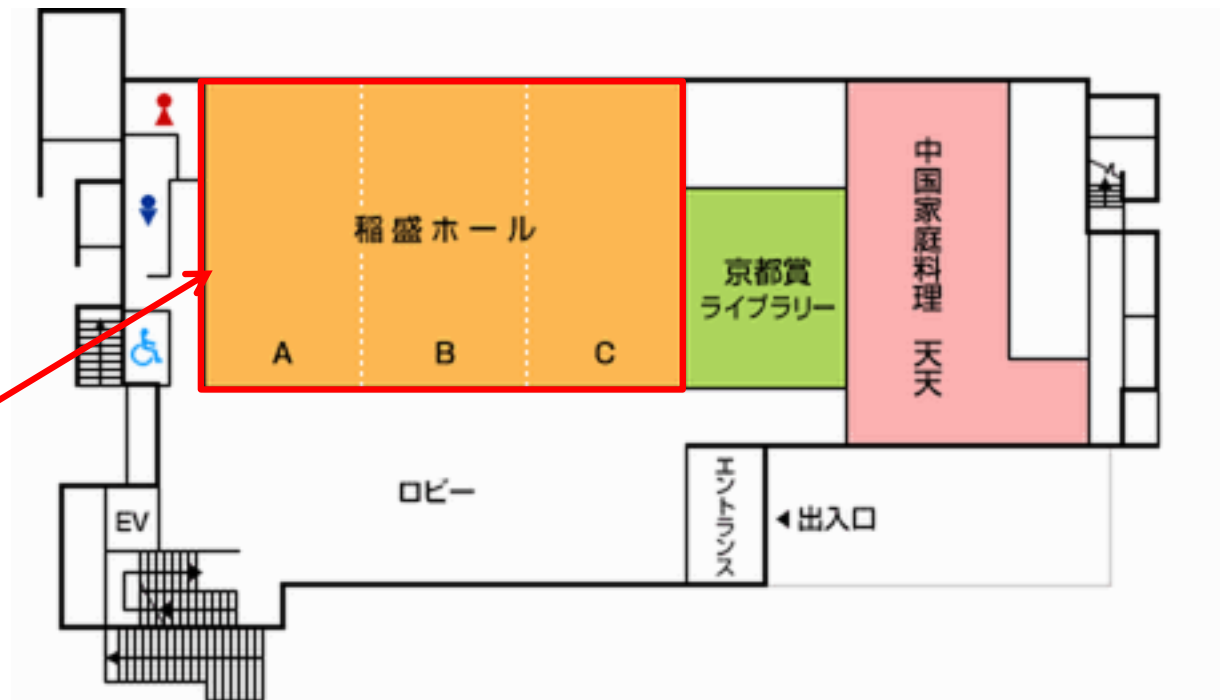
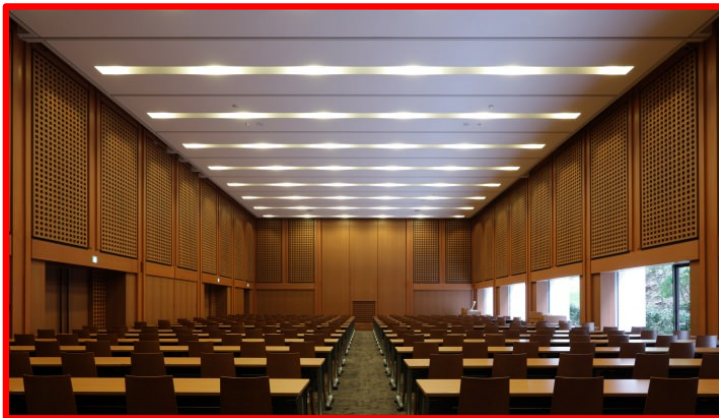
西講義棟3階

会場



稲盛財団記念館:

- 稲盛ホール(288名):
アゲール, 河川災害シンポ
の会場として使用

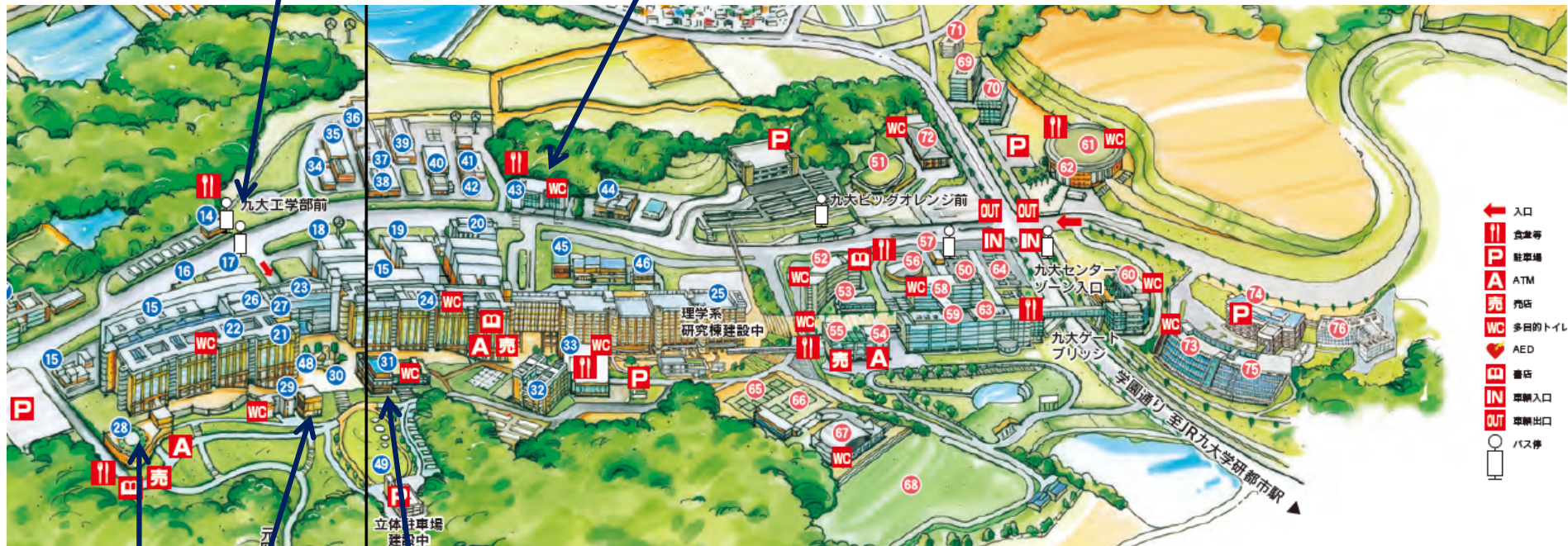


記念館1階

会場

バス停

稲盛財団記念館



- 入口
- 食堂等
- P 駐車場
- A 売
- 売 売
- WC 多目的トイレ
- AED
- 書店
- IN 車庫入口
- OUT 車庫出口
- バス停

西講義棟

工学部食堂

総合学習プラザ

特別講演

- H29年3月16日(木) 15:00-17:30
- 馬奈木俊介 九州大学大学院教授
「新国富論について(仮題)」
- 高橋和雄 長崎大学名誉教授
「九州の自然災害とその伝承(仮題)」
- 進行役: 矢野

※両先生には承諾を得ています。懇親会まで参加予定です。

その他

- 食堂など:

会場近辺に学食(2), カフェ(3), モスバーガー, 中華レストランあり. その他, ローソン, 生協など.

- 懇親会について:

工学部食堂1Fを貸し切りで行う予定.

※2次会は周辺駅前に居酒屋等がありますので, 期間中に案内を配布します.

- ホテルについて(重要!):

最近, 福岡ではホテルが非常に予約しにくい状況です. 必ず, 早めにおさえて下さい!

平成29年夏期研修会準備状況

• 実行委員

青木海岸工学委員長，荒木海岸工学委員，竹原水工学委員，
入江水工学委員

• 日程

第1候補 9/4(月)，9/5(火)

第2候補 8/31(木)，9/1(金)

(第2候補については水シンポジウムと重ならないのが必須条件)

• 場所

大阪大学吹田キャンパス
工学部を想定
大阪空港/新大阪駅から
45分



平成29年度水シンポジウム

- 期日：未定
- 場所：沖縄県
- 水工学委員会からの第1分科会担当：河川部会

第1回実行委員会&企画部会合同会議

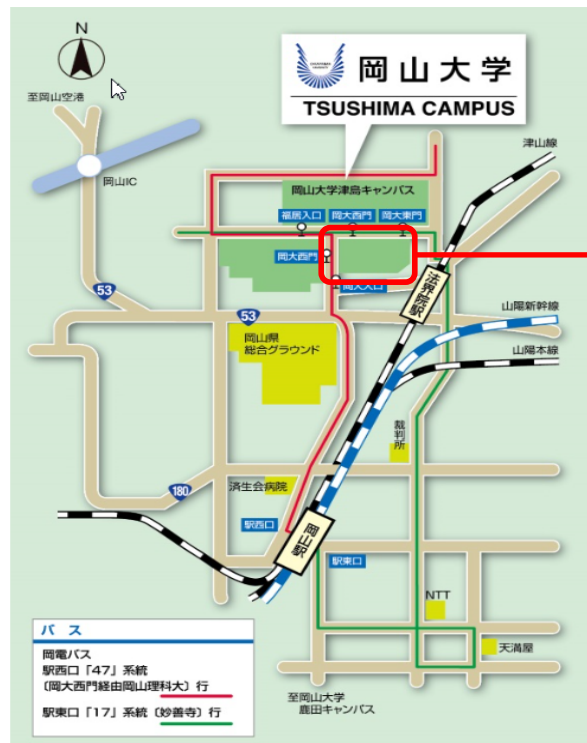
- 開催日時：平成28年10月25日
- 水工学委員会からの参加者：中北委員長，戸田河川部会長，田村河川副部会長，矢野委員（西部地区代表），中山

平成29年度 第62回水工学講演会 開催案

- 場所：岡山大学津島キャンパス
(〒700-8530 岡山市北区津島中3-1-1)
<http://www.okayama-u.ac.jp/>
- 日程：2018年3月5日(月)～7日(水)
- 幹事：前野詩朗(岡大)，吉田圭介(岡大)

交通アクセス

- JR岡山駅から約2.5km. 岡電バス「岡大西門経由岡山理科大」行で「岡大西門」まで10分程度. タクシーの場合8分程度. ラッシュ時は余裕を持って出発して下さい.
- JR岡山駅からJR法界院駅(約4分), 法界院駅から徒歩10分程度(約900m).
- 岡山空港からは, 岡山空港2番乗り場から「岡山駅西口」行で「岡山大学筋」で下車, 徒歩7分程度. ノンストップ便は「岡山駅」で下車, 岡山駅からは上記の各種交通機関を利用.
- 岡山コミュニティサイクル「ももちやり」: 駅周辺と大学にポートがあります. 天気が良ければ駅から大学までレンタル自転車で15分程度.



講演会場

- 一般教育棟B41*(280名):第1会場(開会式, 特別講演, アゲール, 河川シンポ等の会場)として使用予定
- 一般教育棟A41講義室(255名), 同B33室(183名), 同B32室(124名), 同A37室(121名), 同A36室(120名):第2~6会場として使用予定
- 一般教育棟A棟一階ロビー:総合受付
- 委員会用会場, 事務局用として講義室4部屋(61名2部屋, 75名2部屋), 展示室として演習室1部屋を使用予定

*上記講義室・演習室は全て同じ建物です.

その他

- 食堂など:

会場近辺に生協食堂(津島キャンパスに3つ), コンビニ生協売店など.

- 懇親会について:

会場に近い生協食堂3F(100名程度可)を貸し切りで行う.